

各グループにおける評価項目と評価の視点

I グループ (環境の保全・改善・創造に資する新技術開発・概念形成・理論構築等に貢献した先進的な土木工学的研究)		II グループ (土木技術・システムを開発・運用し、環境の保全・改善・創造に貢献した画期的なプロジェクト)	
評価項目	評価の視点	評価項目	評価の視点
環境の保全・改善・創造への可能性	本技術の将来的な活用から、いかに環境の保全・改善・創造、さらには質の向上が図られるか、その可能性を評価	環境の保全・改善・創造への貢献度と実績	本プロジェクトの実行から、どのような環境の保全・改善・創造、さらには質の向上が図られたのか、その貢献度と実績を評価
新規性および優位性	類似の他理論および他技術との比較から、本技術の新規性・優位性・独創性を評価	新規性および優位性	類似の他プロジェクトとの比較から、本プロジェクトの新規性・優位性・独創性を評価
信頼性・安全性・経済性	新技術や概念および理論について、環境保全・創造の観点から、信頼性および安全性が確保されているか、またその採算性を評価	信頼性・安全性	本プロジェクト事業の実施に伴う、信頼性および安全性は確保されているか、またコスト削減効果や採算性を評価
論文、学会発表等	論文投稿や学会発表等によって、技術としての確立が有効かどうか評価	社会での活用とその発信	環境保全および創造に貢献するプロジェクトとして、その活用実績および新聞や広報等の情報発信等を評価